

東京オリンピック事前合宿に係る主なコロナ対策・対応

1 入国まで

(1) 各国内

- ・ワクチン接種
- ・出発 14 日前からの体調管理チェック
- ・出国前 (96 時間以内) の 2 回の検査
- ・出発 72 時間以内の「陰性」証明書の取得

2 入国時

(1) 成田空港内

- ・陰性証明書の提出
- ・スクリーニング検査 (症状の有無に関わらず実施する PCR 検査)
- ・一般客と分離した動線で移動

(2) 成田空港→羽田空港

- ・専用車両 (貸し切りバス等) で移動

(3) 羽田空港→高知空港

- ・一般客との間に空席を確保

3 高知県内

(1) 高知龍馬空港内

- ・一般客と分離した動線で移動 (時間)

(2) 高知龍馬空港→宿泊施設

- ・専用車両 (貸し切りバス等) で移動

(3) 宿泊施設

- ・貸し切りフロアで宿泊
- ・専用会場で食事

(4) 宿泊施設→練習施設

- ・専用車両 (貸し切りバス等) で移動

(5) 練習施設

- ・貸し切りの会場で練習

(6) 検査

- ・ホテルにて毎日スクリーニング検査 (検体は国が推奨する検査機関へ郵送)

(7) 陽性者等への対応

- ・上記 (6) で「陽性」判定が出た場合は、県内協力医療機関にて再検査
- ・「陽性」が確定した場合は、症状に応じて宿泊療養施設や感染症指定医療機関へ入院 (一般の方と同様の対応)

(8) その他

- ・選手や関係者は、宿泊施設、練習施設以外への外出は不可
- ・選手や関係者と一定の接触が見込まれる者は、接触度合いに応じて定期的にスクリーニング検査

4 選手村へ

(1) 高知龍馬空港→羽田空港

- ・一般客との間に空席を確保

(2) 羽田空港→選手村

- ・組織委員会が用意する専用車両 (貸し切りバス等) で移動